

特別講演 1**9月17日(日) 11:00~11:50 第1会場(本館5F・コンコードB)**

司会：飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構 教授)

SP-1 末期ガンの夫を自宅で看取る –「圧倒的経験不足」を越えて–

三砂 ちづる

津田塾大学 国際関係学科 教授

特別講演 2**9月18日(月・祝) 11:00~11:50 第1会場(本館5F・コンコードB)**

司会：飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構 教授)

SP-2 在宅医療のすばらしさ

垣添 忠生

公益財団法人 日本対がん協会 会長／国立がんセンター 名誉総長

教育講演 1**9月17日(日) 13:00~13:50 第2会場(本館5F・コンコードA)**

司会：谷水 正人 (国立病院機構 四国がんセンター 院長・緩和ケア内科)

EL-1 死亡診断時の立ち居振る舞いについてのガイドブック：作成経緯とその後

日下部 明彦

横浜市立大学 総合診療医学

教育講演 2**9月17日(日) 14:10~15:00 第2会場(本館5F・コンコードA)**

司会：井上 大輔 (日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科 教授)

EL-2 在宅緩和ケアにおけるエンドオブライフに向けた自己決定支援

吉澤 明孝

要町病院・要町ホームケアクリニック

日本在宅医療学会・日本在宅医学会合同シンポジウム

9月17日(日) 13:00~15:20 第1会場(本館5F・コンコードB)

「病院から在宅へ(Ⅱ) ー在宅医療の推進：臨床・教育・研究・地域活動の融合ー」

司会：城谷 典保 (日本在宅医療学会 理事長／医療法人社団鴻鵠会 理事長)
石垣 泰則 (日本在宅医学会 理事／コーラルクリニック 院長)

JS1-1 在宅医療に関する卒前教育と研究の必要性

山中 崇
東京大学医学部 在宅医療学拠点

JS1-2 在宅医療の臨床、そして教育・研究

木村 琢磨
北里大学医学部 総合診療医学・地域総合医療学 准教授／北里大学東病院 総合診療・在宅支援センター長

JS1-3 “地域バーチャル病院” で取り組む臨床や地域活動は教育や研究にも寄与しうる

川越 正平
あおぞら診療所 院長

JS1-4 地域で教育することの意義 ー現場の医師会の取り組みー

古田 達之
医療法人社団双樹会 古田医院 院長

日本在宅医療学会・日本褥瘡学会在宅医療委員会合同シンポジウム

9月17日(日) 15:30~17:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

「多職種連携のヒントは褥瘡ケアにある ～褥瘡ケアの基本を学ぼう～」

司会：丸山 道生 (日本在宅医療学会 理事／
医療法人財団緑秀会 田無病院 院長)
塚田 邦夫 (日本褥瘡学会 理事 在宅医療委員会委員長／
医療法人社団研医会 高岡駅南クリニック 院長)
共催：アルケア株式会社

JS2-1 褥瘡のことを、もう一度見直そう

切手 俊弘
彦根市立病院 在宅診療科 主任部長

JS2-2 食支援は生活支援 ～おうちで食べて褥瘡予防！

江頭 文江
地域栄養ケア PEACH 厚木 代表

JS2-3 多職種連携で大切なことは、全て褥瘡が教えてくれた
～地域で取り組む褥瘡ケア～

高橋 麻由美

医療法人社団博栄会 赤羽中央総合病院 看護師長／介護老人保健施設「太陽の都」副看護部長

JS2-4 ICT を用いた多職種連携について ～褥瘡事例における連携の実例～

土屋 淳郎

医療法人社団創成会 土屋医院 院長／豊島区医師会 理事

シンポジウム 1

9月17日(日) 9:00～10:50 第1会場(本館5F・コンコードB)

「地域で看取る ー真の多職種協働ー」

司会：英 裕雄 (医療法人社団三育会 理事長)

日下部 明彦 (横浜市立大学 総合診療医学)

S1-1 在宅クリニック同志の連携

沖田 将人

みらい在宅クリニック

S1-2 市と医師会の連携

川名 理恵子

横須賀市健康部 地域医療推進課

S1-3 在宅クリニックと特別養護老人ホームの連携

小山 輝幸

特別養護老人ホーム グリーンヒル泉・横浜

S1-4 在宅クリニックと訪問看護ステーションの連携

岩本 ゆり

楽患ナース訪問看護ステーション

シンポジウム2

9月17日(日) 15:30~17:50 第1会場(本館5F・コンコードB)

「抗がん剤治療 ーどこまでやるのか? いつ止めるのか?ー」

司会：柵山 年和 (東京慈恵会医科大学 外科/
総合医療センター成田病院 外科)

蘆野 吉和 (社会医療法人北斗 地域包括ケア推進センター)

S2-1 なぜ、抗がん剤治療が死の直前まで行われるのかその要因についてのレビュー

蘆野 吉和

社会医療法人北斗 地域包括ケア推進センター

S2-2 日本におけるがん治療ガイドラインでの中止・差控えの基準について

柵山 年和

東京慈恵会医科大学 外科/総合医療センター成田病院 外科

S2-3 在宅緩和ケアにおける患者、家族の思い ~抗がん剤いつまで続ける~

吉澤 明孝、池田 博斉、吉澤 孝之

要町病院・要町ホームケアクリニック

S2-4 在宅医療の現場における患者の動向 (抗がん剤治療との関連)

井尾 和雄

立川在宅ケアクリニック

S2-5 大腸癌治療の現場における抗がん剤治療中止の困難さ

高橋 慶一

がん・感染症センター都立駒込病院 外科

S2-6 腫瘍内科の現場から 抗がん剤治療の中止に関わる課題

勝俣 範之

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科

シンポジウム3

9月18日(月・祝) 13:30~15:50 第1会場(本館5F・コンコードB)

「在宅医療のコミュニケーションツール 私はこうして使っている」

司会：高林 克日己 (医療法人社団鼎会 三和病院 顧問)

S3-1 在宅医療コミュニケーションツールの現状と課題 行政の立場から

井堀 幹夫

東京大学 高齢社会総合研究機構 客員研究員/地方公共団体情報システム機構 理事

- S3-2 在宅医療コミュニケーションツールの現状と課題 訪問診療医の立場から①
東郷 清児
医療法人社団医輝会 東郷医院 院長
- S3-3 在宅医療コミュニケーションツールの現状と課題 訪問診療医の立場から②
本田 宜久
医療法人博愛会 額田病院 院長
- S3-4 在宅医療コミュニケーションツールの現状と課題 訪問看護師の立場から
村崎 佳代子
医療法人社団重光会 本町訪問看護ステーション
- S3-5 在宅コミュニケーションツールの運用と課題
園田 愛
医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック

シンポジウム4 9月18日(月・祝) 9:00~10:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

「フレイル・サルコペニアに対する在宅生活期リハビリテーション」

司会：若林 秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センター
リハビリテーション科）

- S4-1 在宅栄養管理の考え方
田中 弥生
駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科
- S4-2 地域におけるフレイル・サルコペニアに対する歯科の役割
高橋 賢晃
日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科
- S4-3 在宅生活期リハビリテーションにおける課題
ーフレイルサルコペニアに対するアプローチ
木村 知行
医療法人寿人会 木村病院 リハビリテーション科
- S4-4 共に知る事からはじめるフレイル・サルコペニアの在宅生活期リハ
小林 晴名
医療法人久晴会 甲斐リハビリテーションクリニック リハビリテーション部

食支援セミナー

9月18日(月・祝) 9:00~10:50 第1会場(本館5F・コンコードB)

「多職種で最期までどう食にこだわるのか」

司会：荒金 英樹 (愛生会山科病院 消化器外科)

共催：アボット ジャパン株式会社

SS-1 高齢者の食事場面から洞察する「食べる力」の見える化
～多角的視点による対応策と能登地方での取り組み～

長谷 剛志

公立能登総合病院 歯科口腔外科

SS-2 多職種で最期までどう生に寄り添うのか！
～その方の価値観に合わせた生き方の支援を～

高橋 美香子

医療生活協同組合やまがた 鶴岡協立病院 副院長・消化器内科

SS-3 地域の食を最期までどのように支えるか？
～在宅訪問管理栄養士の立場から～

米山 久美子

医療法人社団白木会 地域栄養サポート自由が丘

SS-4 美味しいが心を開く ～最後のひとさじまで食を楽しむ喜び

辰馬 雅子

京料理・京会席 せんしょう

日本在宅医療学会・日本訪問看護財団合同訪問看護ワークショップ

9月18日(月・祝) 13:30~15:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

「多職種連携において、看護の機能はいつどこで発揮されるのか？」

司会：秋山 正子 (株式会社ケアーズ 代表取締役／
白十字訪問看護ステーション 統括所長／
暮らしの保健室 室長)

遠矢 純一郎 (医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック
院長)

W-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の現状

関野 幸吉¹⁾、小林 八千代²⁾

¹⁾SOMPO ケアメッセージ株式会社 在宅老人ホーム事業部 執行役員 事業部長、

²⁾SOMPO ケア在宅老人ホーム新宿 管理者

W-2 地域間の看護連携取り組み 病院・施設訪問看護ステーションの師間連携
～東京都北区の取り組みより、地域内看護質向上と人材育成を目指して～
平原 優美
日本訪問看護財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長

W-3 看護小規模多機能居宅介護の実際
福田 裕子
まちのナースステーション八千代 統括所長

ランチョンセミナー1 9月17日(日) 12:00~12:50 第1会場(本館5F・コンコードB)

司会：島田 和典（順天堂大学医学部 循環器内科学講座 先任准教授）
共催：第一三共株式会社

LS-1 在宅医療におけるフレイル、ポリファーマシー
小島 太郎
東京大学医学部附属病院 老年病科

ランチョンセミナー2 9月17日(日) 12:00~12:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

司会：城谷 典保（医療法人社団鴻鵠会）
共催：ニプロ株式会社

LS-2 在宅癌患者の症状緩和と栄養療法
杉本 由佳
すぎもと在宅医療クリニック

ランチョンセミナー3 9月17日(日) 12:00~12:50 第3会場(本館4F・花A)

司会：岡田 晋吾（医療法人社団守一会 北美原クリニック 理事長）
共催：トーアス株式会社／トーヨーフーズ株式会社

LS-3 在宅高齢者の栄養ケアの重要性と災害時に備えたローリングストック法のすすめ
田村 佳奈美
福島学院大学 短期大学部 食物栄養学科

ランチョンセミナー4

9月17日(日) 12:00~12:50 第4会場(本館4F・花B)

司会：山本 邦幸 (株式会社やさしい手 東京西支社 支社長)
共催：株式会社やさしい手

LS-4 在宅療養している患者さんを支える医療・介護連携

井上 俊之

医療法人社団エトワール会 たんぼぼクリニック 院長

〈事例提供〉 高橋 諭子

株式会社やさしい手 総合サポート部

小林 裕輔

やさしい手吉祥寺訪問介護 責任者

ランチョンセミナー5

9月18日(月・祝) 12:00~12:50 第1会場(本館5F・コンコードB)

司会：大久保 満男 (元 公益社団法人日本歯科医師会 会長)
共催：サンスター株式会社

LS-5 多職種連携と在宅歯科医療

小玉 剛

公益社団法人日本歯科医師会 常務理事／こだま歯科医院 院長

ランチョンセミナー6

9月18日(月・祝) 12:00~12:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

司会：田中 弥生 (駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 教授)
共催：株式会社クリニコ

LS-6 地域で望む暮らしを支援するために必要なオーラルフレイル対策とは

渡邊 裕

東京都健康長寿医療センター 研究所 社会科学系 専門副部長

ランチョンセミナー7

9月18日(月・祝) 12:00~12:50 第3会場(本館4F・花A)

司会：東口 高志 (藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授)
共催：イーエヌ大塚製薬株式会社

LS-7 栄養製品の特長を生かした質の高い在宅栄養管理を目指して！

飯島 正平

大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科・消化器外科・緩和ケアセンター 主任部長

ランチョンセミナー8

9月18日(月・祝) 12:00~12:50 第4会場(本館4F・花B)

司会：齊藤 洋司 (島根大学医学部 麻酔科学講座 教授)
※司会の先生の記載に誤りがございましたこととお詫び申し上げます。
共催：田辺三菱製薬株式会社

LS-8 知っておきたい在宅における輸液栄養管理法 ～在宅緩和ケア症例を中心に～

児玉 佳之

医療法人社団佳生会 こだま在宅内科緩和ケアクリニック 理事長・院長

イブニングセミナー

9月17日(日) 18:00~18:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

共催：株式会社インターネットイニシアティブ

ES 「電子@連絡帳」を活用した多職種連携の事例

山内 智之

豊橋市医師会 電子@連絡帳担当理事／医療法人廣姫会 田代ひ尿器科 院長

ハンズオンセミナー

9月17日(日) 16:20~17:50 第4会場(本館4F・花B)

「CVポート実践セミナー」

共催：株式会社メディコン

【第1部】 講 義

CVポートの製品特徴から合併症情報、適切な管理方法についての講義

【第2部】 ハンズオン

模擬皮膚を用いてCVポートに穿刺、抜針を体験いただきます。

また、カテーテル管理に必要な逆血確認、フラッシュ方法についても体験いただきます。

スポンサードシンポジウム

9月17日(日) 13:30~15:00 第4会場(本館4F・花B)

「医療介護専用 SNS を活用した多職種連携の実際 ～地域包括ケア実現のために～」

司会：山下 巖（山下診療所）

共催：株式会社日本エンブレース

演者：長島 公之（長島整形外科）

土屋 淳郎（土屋医院）

中西 裕道（徳永薬局）

藤澤 節子（ルンルンファーマシー）

一般演題 1

9月17日(日) 9:00~9:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

「多職種連携 (1)」

座長：荻野 美恵子 (国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター)

- 01-1 地域が療養を支えることで、複数の疾病を抱える長期入院患者が在宅移行できた一事例
浅野 春香¹⁾、伊藤 加代子¹⁾、後藤 朱里¹⁾、松岡 真弥子¹⁾、松本 千佳子²⁾、神谷 信次³⁾、中井 洋佑³⁾、
加藤 裕史⁴⁾、村松 伸之介⁴⁾、坂井田 高志⁴⁾、吉田 有友子⁴⁾、西本 和生⁵⁾、西山 亜紀⁶⁾、数野 正徳⁷⁾
¹⁾ 名古屋市立大学病院 看護部 14階南病棟、²⁾ 名古屋市立大学病院 地域医療連携センター、
³⁾ 名古屋市立大学病院 心臓血管外科、⁴⁾ 名古屋市立大学病院 皮膚科、⁵⁾ あつた神宮東クリニック、
⁶⁾ 訪問看護ステーション豆大ふく、⁷⁾ 社会福祉法人野並福祉会 堀田デイサービスセンター
- 01-2 特別養護老人ホームに勤務する介護士にシミュレーション教育を用いた褥瘡予防対策の効果
古川 智恵
四日市看護医療大学 看護学部
- 01-3 脳出血により自立生活から要介護5に一転した透析患者・家族への意思決定支援
高橋 香代子
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 看護部
- 01-4 研修医50人に聞きました！ 薬剤師ってどんな職？
ーアンケートから見る在宅訪問薬剤師のイメージと課題ー
町田 一美¹⁾、加藤 啓子²⁾、大久保 築世⁴⁾、内田 望³⁾
¹⁾ (有) 秩父薬剤師会調剤センターおがの薬局、²⁾ 国保町立小鹿野中央病院 医療連携室、
³⁾ 国保町立小鹿野中央病院 総合診療科、⁴⁾ 小鹿野町保健課
- 01-5 看看連携がもたらす地域包括ケアシステムの実際
～安全なケア提供を保証するために～
河村 朋子、豊田 まゆ美、青木 悠紀子、渡部 拓郎、小林 敦子、時任 俊子、嶋田 靖子
磯子区医師会訪問看護ステーション

一般演題 2

9月17日(日) 10:00~10:50 第2会場(本館5F・コンコードA)

「多職種連携 (2)」

座長：大石 英人 (国立病院機構 村山医療センター 外科)

- 02-1 在宅支援診療所薬剤師の退院カンファレンスへの参加
岡崎 理絵
医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック

02-2 当院における「特定看護師（NP）による特定行為を活かした効果的地域在宅医療システムの確立」に向けた取り組み

黒澤 恵美子¹⁾、住友 和弘²⁾、山家 研一郎²⁾、中川 恵子³⁾、佐竹 雅史⁴⁾、瀬戸 初江⁵⁾、近藤 丘⁶⁾、渡邊 隆夫⁷⁾、津田 丈秀⁷⁾、遠藤 和子⁸⁾、松本 宏⁹⁾、小寺 俊之¹⁰⁾、遠藤 敏¹¹⁾、佐藤 純子¹²⁾

¹⁾ 東北医科薬科大学病院 呼吸器内科、²⁾ 同 総合診療科、³⁾ 同 救急科、⁴⁾ 同 耳鼻咽喉科、⁵⁾ 同 看護局、⁶⁾ 同 呼吸器外科、⁷⁾ 東北文化学園大学大学院、⁸⁾ 登米市訪問看護ステーション、⁹⁾ 登米市民病院、¹⁰⁾ 豊里病院、¹¹⁾ 米谷病院、¹²⁾ 宮城県登米保健所

02-3 効果的なワンチーム活動の実現に向けて ～地域包括ケアシステムの仕組み作りと多職種連携の実際～

熊田 総佳¹⁾、繁本 将憲¹⁾、前田 正彦²⁾、吉澤 利弘³⁾、酒寄 享⁴⁾、新井 良⁵⁾、高村 一郎⁶⁾、黒川 豊⁷⁾、高井 俊輔⁸⁾、荘田 恭聖⁹⁾、渡辺 武¹⁰⁾

¹⁾ 株式会社 NTT データ経営研究所、²⁾ 株式会社前田&アソシエイツ、³⁾ NTT 東日本関東病院（東京都品川区）、⁴⁾ 酒寄医院（東京都品川区）、⁵⁾ あらい内科医院（北海道登別市）、⁶⁾ 高村内科医院（北海道小樽市）、⁷⁾ 黒川医院（名古屋市千種区）、⁸⁾ 福永記念診療所（大阪市城東区）、⁹⁾ 荘田医院（熊本県天草市）、¹⁰⁾ エーザイ株式会社

02-4 在宅医療における医療材供給に関する考察

岡 豊香¹⁾、井田 鉄平¹⁾、神戸 裕理¹⁾、遠藤 理恵¹⁾、武田 浪弘²⁾、山本 健³⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾

¹⁾ 株式会社フレディ タカノ薬局 鎌倉店、²⁾ 株式会社フレディ タカノ薬局、³⁾ 昭和薬科大学

02-5 在宅医療推進のための多職種連携研修会受講後の在宅医療への参入状況と連携活動の長期的変化

松本 佳子¹⁾、吉江 悟²⁾、土屋 瑠見子³⁾、川越 正平⁴⁾、平原 佐斗司⁵⁾、山中 崇¹⁾、飯島 勝矢²⁾、辻 哲夫²⁾

¹⁾ 東京大学医学部 在宅医療学拠点、²⁾ 東京大学 高齢社会総合研究機構、³⁾ 公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団、⁴⁾ あおぞら診療所、⁵⁾ 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所

一般演題3

9月17日(日) 9:00~9:50 第3会場(本館4F・花A)

「看護師の関わり／在宅リハビリ」

座長：田中 登美（兵庫医療大学 看護学部 療養支援看護学）

03-1 長浜病院訪問看護ステーションにおけるがん性疼痛看護認定看護師の役割の考察 －同行訪問3事例を通して－

河野 智一^{1,2)}、一色 京子^{1,2)}、湧口 朋子^{1,2)}

¹⁾ 市立長浜病院 看護局、²⁾ 長浜病院訪問看護ステーション

03-2 訪問看護の関わりによる生活の質への影響について

島村 由美子

株式会社学研ココファン・ナーシング

- 03-3 自分らしさを取り戻す「生きる力」を支える訪問看護師の取り組み
上川 寿子、小林 美紗子、高橋 久美子、秋宗 知代、田井中 直子、北川 順子、河野 和歌子、矩 照幸、
山本 明、馬場 忠雄
医療法人友仁会 訪問看護ステーションすずらん
- 03-4 おとうちゃん、おかねかえしてね
～デジタル透明文字盤『OriHime eye』を導入し、生活の質が向上した症例～
中川 久美子
医療法人鳥伝白川会 訪問看護ステーション ドクターゴン
- 03-5 訪問言語聴覚士の摂食嚥下に関する業務と課題
小島 香¹⁾、森 亮太²⁾、西沢 貴志²⁾、藤井 博之^{3,4)}
¹⁾兵庫医科大学 生理学 生体機能部門、²⁾医療法人八事の森 杉浦医院、³⁾日本福祉大学 社会福祉学部、
⁴⁾佐久総合病院

一般演題4

9月17日(日) 10:00～11:00 第3会場(本館4F・花A)

「高齢者・フレイル」

座長：岡田 晋吾（医療法人社団守一会 北美原クリニック 理事長）

- 04-1 65歳からの肺炎予防 ～プライマリケアにおける肺炎球菌ワクチンへの取り組み～
石樽 裕之、吉澤 明孝、吉澤 孝之
医療法人社団愛語会 要町病院
- 04-2 在宅で診る心不全 ～ある症例を通して～
遠山 治彦
特別医療法人神戸健康共和会 東神戸病院
- 04-3 認知症高齢者の在宅療養支援における倫理的問題解決用紙の検討
渡邊 節子
中京学院大学 看護学部
- 04-4 全国コミュニティ拠点における栄養ケアの取り組み実態調査
川口 美喜子
大妻女子大学 家政学部 食物学科
- 04-5 非がん高齢患者の療養先について ～事例からの提案～
中島 夕美子¹⁾、河村 朋子²⁾
¹⁾みなみ横浜ケアプランセンター、²⁾磯子区医師会訪問看護ステーション

04-6 認知症のタイプと高血圧症、糖尿病、骨折の合併頻度の検討

近藤 精二、近藤 靖子

医療法人社団精樹会 さくらホームクリニック

一般演題5

9月17日(日) 9:00~9:40 第4会場(本館4F・花B)

「IT・ICT」

座長：福田 能啓（医療法人協和会 第二協立病院 院長）

05-1 ICTを活用した秋田県湯沢市での遠隔医療実証試験

小野崎 圭助、高野 秀雄

医療法人 小野崎医院

05-2 GISを用いた訪問看護ステーション勢力圏における地域特徴の把握

堀池 諒¹⁾、板谷 智也²⁾、中井 寿雄³⁾、白井 文恵⁴⁾

¹⁾高知県 健康政策部 医療政策課、²⁾金沢大学 医薬保健研究域 保健学系、³⁾金沢医科大学 看護学部、

⁴⁾大阪大学大学院医学系研究科

05-3 人口推計に基づいた能登地域における訪問介護・通所介護事業所の立地数に関する検討
—地理情報システムを活用した分析—

板谷 智也¹⁾、堀池 諒²⁾、中井 寿雄³⁾、京田 薫¹⁾、塚崎 恵子¹⁾

¹⁾金沢大学 医薬保健研究域 保健学系、²⁾高知県 健康政策部 医療政策課、³⁾金沢医科大学 看護学部

05-4 晴れやかネット拡張機能ケアキャビネット「やまぼうし」による医療介護の連携：
第2報「動画と写真による連携の有用性」

仲田 永造¹⁾、中村 隆資²⁾、服部 隆志³⁾、橋本 博子⁴⁾、笹井 亜紀宏⁴⁾、佐藤 剛紀⁵⁾、小川 慎治⁶⁾、
山下 三枝子⁷⁾、大場 基成⁸⁾

¹⁾医療法人 仲田医院、²⁾医療法人清梁会 高梁中央病院、³⁾高梁中央訪問看護ステーション、

⁴⁾高梁医師会訪問看護ステーションやまびこ、⁵⁾医療法人慶真会 大杉病院 地域連携室、⁶⁾おがわ薬局、

⁷⁾順正学園訪問介護センター、⁸⁾高梁市健康福祉部 医療連携課

一般演題6

9月17日(日) 9:50~10:50 第4会場(本館4F・花B)

「薬剤師の関わり」

座長：大濱 修（福山大学 薬学部）

06-1 病院薬剤師による訪問薬剤指導の現状と課題

中村 ますみ^{1,2)}、木下 よし江²⁾、朝田 京子²⁾、大塚 めぐみ²⁾、濱 智久¹⁾、林 誠悟¹⁾、伊藤 友樹¹⁾、
西尾 正行¹⁾、中村 昌樹³⁾

¹⁾公立森町病院 薬剤科、²⁾公立森町病院 在宅医療支援室 さざんか、³⁾公立森町病院 診療部

06-2 在宅療養支援診療所でのPBPM導入とその効果

今城 宏文¹⁾、小川 亮子²⁾、岡 豊香³⁾、長谷川 聡⁴⁾、平田 恵理⁵⁾、岸本 正人¹⁾、泰川 恵吾¹⁾、
廣原 正宜⁶⁾、串田 一樹⁶⁾

¹⁾ ドクターゴン鎌倉診療所、²⁾ 有限会社タカ・コーポレーション 十二所薬局、
³⁾ 株式会社フレディ タカノ薬局、⁴⁾ 株式会社フレディ タカノ薬局 湘南秋谷、
⁵⁾ 株式会社エルマノ すばる中央薬局 大船店、⁶⁾ 昭和薬科大学

06-3 施設入所者の処方減薬の取り組みと実績

三谷 徳昭^{1,2)}、大島 幸徳²⁾、山内 伴紀²⁾、大口 顕²⁾、橋本 登²⁾、曾我 あすか²⁾、長堀 祐樹²⁾、
山本 健³⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾

¹⁾ パル薬局 菅生店、²⁾ ミライ☆在宅委員会、³⁾ 昭和薬科大学

06-4 利用者の死を含む急変時の第一発見者としての訪問薬剤師の対応について

田中 駿介¹⁾、十市 隆弘¹⁾、塩田 純一²⁾、山本 健³⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾

¹⁾ 株式会社ヒューメディアカ 新つるみ薬局、²⁾ うしおだ在宅クリニック、³⁾ 昭和薬科大学

06-5 在宅訪問薬局における在宅医療コーディネーターの可能性について

藤田 龍、長谷川 寛

日本調剤株式会社 薬剤本部 在宅医療部

06-6 アメリカの在宅医療に対する薬剤師の関わりと医療制度の国際比較

奥田 徳子

大阪市立大学大学院 創造都市研究科

一般演題7

9月17日(日) 13:00~14:00 第3会場(本館4F・花A)

「地域での看取り(1)」

座長：谷亀 光則 (医療法人社団松和会 望星大根クリニック 院長)

07-1 介護付き有料老人ホームにおける看取り

吉田 初雄¹⁾、職員 一同²⁾

¹⁾ 医療法人明信会 今泉西病院、²⁾ 医療法人明信会 介護付き有料老人ホーム いまいずみ荘

07-2 病床を有する医療機関が行う在宅診療からみた癌末期および非癌症例の看取りの現状

廣瀬 憲一、永淵 富夫、岡 愛、滝澤 里織、佐藤 恵子、小林 直美、高群 麻美、岡田 浩史、渡邊 一功、
佐藤 美穂

医療法人社団守成会 広瀬病院

07-3 患者の希望する在宅看取りを可能とする要因

渡辺 陽子、杉原 弘記、岡本 伸也、中谷 公香、吉田 明弘、上塚 大一

尾道市立市民病院

07-4 遠隔地のがん終末期患者を支えるための課題

川畑 恵¹⁾、逸見 由紀¹⁾、田中 晶²⁾、平野 里実³⁾、工藤 剛裕⁴⁾、川畑 秀伸⁵⁾

¹⁾ 勤医協中央病院 緩和ケア科、²⁾ あつた中央クリニック、³⁾ 訪問看護ステーション ポプラ、

⁴⁾ なの花薬局 手稲駅前店、⁵⁾ 北海道大学大学院医学研究科 医学教育・総合診療医学講座

07-5 PCA ポンプを使用しモルヒネ持続皮下注を行った間質性肺炎終末期患者の看取り

村松 勝子、奥家 亜優美、下館 祐美、櫻庭 綾子、平野 紫伸、亀田 邦彦

岡三沢診療所

07-6 緊急入院後 48 時間以内に死亡した症例の検討

川田 和弘、柳泉 亮太、高橋 修

平和病院 緩和ケア科

一般演題 8

9月17日(日) 14:10~15:10 第3会場(本館4F・花A)

「地域での看取り (2)」

座長：大島 浩子 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 在宅医療開発研究部 長寿看護・介護研究室)

08-1 独居患者の在宅ターミナルケア

井坂 茂夫、沖田 伸也、志村 里織、三原 和加奈、松永 渚

黒砂台診療所

08-2 在宅での看取りを可能にした連携 ～1 事例を通して～

鶴飼 知鶴

神戸常盤大学 保健科学部 看護学科

08-3 在宅から緩和ケア病棟に入院し 1 週間以内で死亡した症例の検討

佐野 広美、高杉 知明

医療法人財団慈生会 野村病院 緩和ケア内科

08-4 在宅看取りスコアの作成を目指して

鈴木 悦朗^{1,2)}、染谷 京子^{2,3)}、鈴木 勝^{2,4)}、星野 淳子^{2,5)}、松尾 愛美^{2,6)}、相沢 淳^{2,7)}、
栗原 龍一郎^{2,8)}

¹⁾ 医療法人向日葵会 日横クリニック、²⁾ 港北区高齢者支援ネットワーク、

³⁾ 港北区医師会訪問看護ステーション、⁴⁾ 社会福祉法人緑峰会、

⁵⁾ 医療法人向日葵会 ひよこ訪問看護ステーション、⁶⁾ ひまわり訪問看護ステーション、⁷⁾ 日吉堂薬局、

⁸⁾ 南福祉保健センター (元港北福祉保健センター)

08-5 私たちのグリーフケア

本多 千鶴

大分県 医療生活協同組合 けんせいホームケアクリニック

08-6 多職種連携で支える在宅看取りの工夫

森 亮太¹⁾、小島 香^{1,2)}、奥村 圭子^{1,3)}、西澤 貴志¹⁾、里村 愛¹⁾

¹⁾ 医療法人八事の森 杉浦医院、²⁾ 兵庫医科大学 生理学 生体機能部門、

³⁾ 地域ケアステーション はらぺこスパイス

一般演題9

9月17日(日) 15:20~16:20 第3会場(本館4F・花A)

「地域の医療連携・退院支援(1)」

座長：三浦 久幸(国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部)

09-1 日常生活圏域ごとの地域包括ケアシステム構築を目指した取組の報告 ～5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会の開催

松浦 尚志¹⁾、西園 久徳¹⁾、青柳 明彦¹⁾、小栗 和美^{1,2)}、武富 章³⁾、迫 康博⁴⁾、本田 宜久⁵⁾、
篠崎 博嗣⁶⁾、西野 豊彦⁷⁾、今川 英二⁸⁾、鎌田 正博⁹⁾、古瀬 俊一郎¹⁰⁾

¹⁾ 飯塚医師会、²⁾ 麻生飯塚病院、³⁾ 飯塚市立病院、⁴⁾ 済生会飯塚嘉穂病院、⁵⁾ 颯田病院、⁶⁾ 社会保険稲築病院、

⁷⁾ 西野病院、⁸⁾ 嘉麻赤十字病院、⁹⁾ 鎌田病院、¹⁰⁾ 共立病院

09-2 食事・栄養サマリーを活用した急性期病院と在宅医療・介護機関との連携に関する一考察

大島 真理子¹⁾、石川 恵子¹⁾、浅川 沙織¹⁾、山本 亜矢子²⁾、丹野 恵子³⁾

¹⁾ (公財) 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター 栄養科、

²⁾ (公財) 東京都保健医療公社 荏原病院 栄養科、

³⁾ (公財) 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター 看護部

09-3 急性期病院の退院支援カンファレンスによる多職種連携に関する学生の学び

木村 美津子、山口 浩美

了徳寺大学 健康科学部 看護学科

09-4 がん患者と非がん患者の退院調整の支援内容の違いについての検討

石井 容子¹⁾、人見 優子¹⁾、松本 朋美¹⁾、池澤 里香²⁾、福島 史哉³⁾

¹⁾ 那須赤十字病院 地域医療福祉連携課、²⁾ 那須赤十字病院 リハビリテーション科、

³⁾ 那須赤十字病院 呼吸器内科

09-5 退院前訪問の実践から在宅復帰支援の役割を検討する ～病棟看護師が在宅へ赴くことの意義～

中野 綾香、小笹 考史、宮崎 美由紀

医仁会 武田総合病院

09-6 退院後訪問指導を開始して気づいた当院の退院支援と今後の課題

小川 育恵、平田 京子、中本 有美、佐藤 千秋、竹森 美喜

医療法人社団玄同会 小島病院 地域連携室

「地域の医療連携・退院支援(2)」

座長：志真 泰夫（公益財団法人 筑波メディカルセンター 代表理事・在宅部事業長）

O10-1 A 県における病院・診療所の在宅医療提供体制の実態調査

泉宗 美恵¹⁾、望月 宗一郎²⁾、須田 由紀¹⁾、古屋 奈津子³⁾

¹⁾ 山梨県立大学 看護学部、²⁾ 健康科学大学 看護学部、³⁾ 甲州市訪問看護ステーション

O10-2 がん終末期患者の在宅移行時から終末期までの退院調整看護師と訪問看護師との連携の実態から見えたこと

金野 聡美、長井 浜江

東京女子医科大学 八千代医療センター

O10-3 三重県の在宅療養支援診療所、在宅支援診療病院の7年間の活動状況と地域差に関する検討

松川 真葵¹⁾、福山 由美²⁾、中北 裕子³⁾、秋山 明子¹⁾

¹⁾ 畿央大学大学院 健康科学研究科 健康科学専攻、²⁾ 佐賀大学医学部 看護学科、

³⁾ 三重県立看護大学 看護学部 看護学科

O10-4 在宅療養支援病院における訪問診療と訪問看護師との情報共有や連携に関する一考察～アンケート調査を通して考えられる訪問診療における看護師の役割～

高群 麻美、佐藤 奈保、帰山 祥子、金澤 博美、佐藤 恵子、小林 直美、滝澤 里織、佐藤 美穂、廣瀬 憲一

医療法人社団守成会 広瀬病院 地域患者支援センター 在宅療養支援課

O10-5 A 県の在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所の在宅医療提供に関する実態と課題

須田 由紀¹⁾、古屋 奈津子²⁾、望月 宗一郎³⁾、泉宗 美恵¹⁾

¹⁾ 山梨県立大学 看護学部、²⁾ 甲州市訪問看護ステーション、³⁾ 健康科学大学 看護学部

O10-6 退院支援の質向上に向けた病棟看護師の育成の取り組み 第2報

山本 裕子、小林 加代子、島中 小百合、富田 和代

JA 岐阜厚生連 久美愛厚生病院

一般演題 11

9月18日(月・祝) 9:00~9:50 第3会場(本館4F・花A)

「多職種連携 (3)」

座長：平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 内科)

O11-1 在宅医療推進のために多職種連携を目指して

緑川 靖彦¹⁾、保 清和¹⁾、月田 茂之¹⁾、木村 守和²⁾、山内 俊明²⁾

¹⁾ 呉羽総合病院 外科、²⁾ いわき市医師会

O11-2 地区医師会と行政が市町村を超えた日常生活圏域全体で取り組む医療・介護の多職種連携推進

廣山 恵、橋本 渉

鳥取県東部医師会 在宅医療介護連携推進室

O11-3 都市部における相談業務の実態調査

—名古屋市在宅医療介護支援センターの業務分析をもとに—

鈴木 裕介¹⁾、辻 典子¹⁾、中嶋 宏貴¹⁾、葛谷 雅文²⁾

¹⁾ 名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター、

²⁾ 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学

O11-4 全国自治体の医療介護連携推進事業担当者を対象にした調査 —相談業務の実態把握—

鈴木 裕介¹⁾、辻 典子¹⁾、中嶋 宏貴¹⁾、葛谷 雅文²⁾

¹⁾ 名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター、

²⁾ 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学

O11-5 「越谷市医療と介護の連携窓口」の活動報告と今後の展望について

野上 めぐみ¹⁾、佐藤 陽二²⁾、岡野 昌彦²⁾、大越 恭二²⁾

¹⁾ 越谷市医療と介護の連携窓口、²⁾ 越谷市医師会

一般演題 12

9月18日(月・祝) 10:00~10:50 第3会場(本館4F・花A)

「教育／災害医療／その他」

座長：井上 善文 (大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス
未来医工学共同研究部門)

O12-1 訪問看護ステーション実習における学生の医療安全の認識と課題

木村 美津子

了徳寺大学 健康科学部 看護学科

- O12-2 在宅療養者のための自助、公助、共助のバランスの取れた災害の備え
畑 吉節未
神戸常盤大学 保健科学部 看護学科
- O12-3 在宅療養者の自助力を高め災害に備える訓練のデザインと成果の検討
ー療養者・家族とともに進めた防災訓練の振り返りー
白井 佳代¹⁾、伊藤 美江子¹⁾、畑 吉節未²⁾
¹⁾ 望星台訪問看護ステーション厚木、²⁾ 神戸常盤大学 保健科学部 看護学科
- O12-4 The Glimpse of Home Health Care in Taiwan Exemplified by One of Provincial Region Chiayi
Pai, Hui-Wen
Integrated Center of Home Health Care, and Division of Geriatrics and Gerontology, Department of Internal Medicine, Ditmanson Medical Foundation Chia-Yi Christian Hospital, Taiwan
- O12-5 The role of hospital in home based medical services-experience from rural areas of Southern Taiwan
Chi Hsien Huang
Department of Family Medicine, E-DA Hospital, Kaohsiung City, Taiwan/
School of Medicine for International Students, I-Shou University, Kaohsiung City, Taiwan

一般演題 13

9月18日(月・祝) 9:00~10:00 第4会場(本館4F・花B)

「終末期」

座長：泰川 恵吾（医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所 理事長）

- O13-1 認知症患者の終末期ケアに関する文献レビュー
日吉 和子¹⁾、飛田 弥咲²⁾、ベッカー カール³⁾
¹⁾ 京都大学大学院医学研究科、²⁾ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学、
³⁾ 京都大学 政策のための科学ユニット
- O13-2 看取りのあとに私たちができること ~ご遺体の変化を想定したエンゼルケアについて~
大堀 嘉子^{1,2)}、木村 光希^{2,3)}、平中 康介^{2,3)}、木谷 慶太郎³⁾、高田 朱美⁴⁾
¹⁾ 横浜高齢者グループホーム連絡会、²⁾ 株式会社おくりびとアカデミー、
³⁾ デイパーチャーズ・ジャパン株式会社、⁴⁾ 有限会社水車の里 グループホーム水車の里
- O13-3 在宅で終末期患者を支えるチーム連携
~退院当日のサービス担当者会議のあり方を考える~
荻原 美代子¹⁾、入野 弘美¹⁾、山岡 桂太²⁾、藤巻 洋子³⁾、渡辺 陸子⁴⁾、山本 健⁵⁾、廣原 正宜⁵⁾、
串田 一樹⁵⁾
¹⁾ 二子薬局 はなえケアステーション、²⁾ 医療法人社団 ARCWELL 田園二子クリニック、
³⁾ 丈夫屋メディカル、⁴⁾ 二子薬局、⁵⁾ 昭和薬科大学

- 013-4 循環動態不全の終末期患者の在宅療養生活でレガシーポンプが有用であった 2 症例
久保 美穂子、西原 承浩、金 永進
医療法人みんと会 きむ医療連携クリニック
- 013-5 乳癌骨転移に伴う難治性疼痛に対してオキシコドンとタペンタドールの併用が疼痛緩和に有効であった 1 例
松浦 哲也¹⁾、日下部 明彦³⁾、結束 貴臣^{1,2)}、本田 靖²⁾、後藤 歩^{4,5)}、吉見 明香^{1,6)}、吉田 晴久⁶⁾、安藤 豪⁶⁾、助川 明子⁷⁾、畑 千秋⁸⁾、斉藤 幸枝⁸⁾、宮下 陽子⁸⁾、屋代 涼子⁹⁾、中島 淳²⁾、市川 靖史^{4,5)}
¹⁾横浜市立大学附属病院 緩和医療部、²⁾横浜市立大学医学部医学科 肝胆膵消化器病学、³⁾横浜市立大学医学部医学科 総合診療医学、⁴⁾横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科、⁵⁾横浜市立大学医学部医学科 がん総合医科学、⁶⁾横浜市立大学附属病院 精神科、⁷⁾横浜市立大学附属病院 産婦人科、⁸⁾横浜市立大学附属病院 看護学部、⁹⁾横浜市立大学附属病院 薬剤部
- 013-6 人口減少社会において存続可能な終末期医療に関する一考察
奥田 徳子
大阪市立大学大学院 創造都市研究科

一般演題 14

9月18日(月・祝) 10:10~11:00 第4会場(本館4F・花B)

「その他」

座長：中島 孝（国立病院機構 新潟病院 院長）

- 014-1 地域密着の会を通して、地域の専門職種が『残薬問題』について意見を出し合い、行動を起こしたプロセスについての報告
森田 千雅子¹⁾、日下部 明彦²⁾、平野 和恵³⁾、奈良 健⁴⁾、森 麻美子⁴⁾、宮下 勉⁵⁾、渡部 裕美⁶⁾、木村 淳⁷⁾、信田 和子⁷⁾、香西 杏子⁸⁾、山田 沙代⁹⁾、鷲崎 慎⁴⁾、稲森 正彦¹⁰⁾、朝比奈 完⁵⁾、入野 飛鳥⁹⁾
¹⁾ホームケアクリニック横浜港南、²⁾横浜市立大学 総合診療医学、³⁾がん研有明病院、⁴⁾サン薬局 在宅薬物治療支援部、⁵⁾医療法人社団鴻鵠会 睦町クリニック、⁶⁾原歯科医院 往診部、⁷⁾株式会社マザーライク、⁸⁾学校法人 医学アカデミー、⁹⁾横浜市立大学附属病院 医事課 地域連携担当、¹⁰⁾横浜市立大学 医学教育学
- 014-2 在宅医療に有用な超小型白血球分析装置 HemoCueWBC DIFF アナライザの使用経験
泰川 恵吾、香川 嘉彦、久島 和洋、今井 一登、タルマン寺本 穂波、千葉 晴子、曾我 幸弘
医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所
- 014-3 介護保険のケアプラン作成業務の標準化に向けた改善活動の報告
幸野 亜希子、花村 真紀、鳥生 治子
飯塚病院 地域包括ケア推進本部 介護保険支援室

014-4 地域包括ケアシステムにおける在宅療養支援診療所の役割（人口2万5千、山梨県上野原市での活動報告）

上條 武雄

上條内科クリニック

014-5 在宅医療は一般住民に理解し納得されているか 住民主体の勉強会報告

佐伯 晴子

一般社団法人 マイインフォームド・コンセント

一般演題 15

9月18日(月・祝) 13:30~14:30 第3会場(本館4F・花A)

「緩和ケア」

座長：廣橋 猛（永寿総合病院 緩和ケア科副部長
がん診療支援・緩和ケアセンター長）

015-1 大量癌性腹水患者の在宅緩和医療における KM-CART の役割

松崎 圭祐¹⁾、森田 祥子²⁾、池田 博斎²⁾、吉澤 明孝²⁾

¹⁾ 要町病院 腹水治療センター、²⁾ 要町病院 緩和ケア科

015-2 乳癌皮膚浸潤からの出血に対して Mohs ペーストが著効した症例

中務 泰子¹⁾、中島 晴美¹⁾、杉本 由佳²⁾

¹⁾ ベネッセスタイルケア メディカルホームくらら中電覚王山、²⁾ すぎもと在宅医療クリニック

015-3 当院のケミカルコーピングに関する後方視的観察研究

結束 貴臣^{1,2)}、日下部 明彦³⁾、松浦 哲也^{1,2)}、本多 靖²⁾、吉見 明香^{1,6)}、後藤 歩^{4,5)}、吉田 晴久⁶⁾、
安藤 豪⁶⁾、助川 明子⁷⁾、畑 千秋⁸⁾、齋藤 幸枝⁸⁾、宮下 陽子⁸⁾、屋代 涼子⁹⁾、中島 淳²⁾、
市川 靖史^{4,5)}

¹⁾ 横浜市立大学附属病院 緩和医療部、²⁾ 横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学、

³⁾ 横浜市立大学医学部 総合診療医学、⁴⁾ 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科、

⁵⁾ 横浜市立大学医学部 がん総合医科学、⁶⁾ 横浜市立大学附属病院 精神科、

⁷⁾ 横浜市立大学附属病院 産婦人科、⁸⁾ 横浜市立大学附属病院 看護部、⁹⁾ 横浜市立大学附属病院 薬剤部

015-4 地域でおこなう緩和ケア外来とがんカフェの意義

三村 卓司

社会医療法人緑社会 金田病院

015-5 Cancer disease trajectory と芸術アウトリーチ支援活動

大城 久子¹⁾、大城 辰雄¹⁾、谷水 正人²⁾

¹⁾ 大城外科胃腸科、²⁾ 四国がんセンター 緩和ケア内科

015-6 当院における頭頸部癌に対する在宅緩和ケアの現状

池田 博斉、吉澤 明孝

要町ホームケアクリニック

一般演題 16

9月18日(月・祝) 14:40~15:50 第3会場(本館4F・花A)

「小児／精神／化学療法」

座長：高柳 英夫 (NTT 東日本 札幌病院 精神科)

016-1 訪問薬剤管理指導を必要とする小児科患者の在宅療育状況と薬剤師の役割

川名 三知代¹⁾、初田 稔¹⁾、石川 洋一²⁾、山本 健³⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾

¹⁾ココカラファイン薬局 砧店、²⁾国立成育医療研究センター 薬剤部、³⁾昭和薬科大学

016-2 小児在宅医療を受けている患児・家族のためのレスパイトキャンプの経験

行田 泰明¹⁾、佐久間 詠理¹⁾、川内 潤也¹⁾、渡邊 淳子¹⁾、木戸 恵子²⁾

¹⁾医療法人社団淳友会 わたクリニック、²⁾株式会社ウッディ 訪問看護ステーション はーと

016-3 看護系大学生が「地域で過ごす疾病・障害のある子ども」について学び考えたこと
ー医療職者としての自分のイメージを問うー

荻原 康子

日本保健医療大学 保健医療学部 看護学科

016-4 アカシジアに対してフェンタニルクエン酸塩舌下錠が症状緩和に有効であった1例

結束 貴臣^{1,2)}、日下部 明彦³⁾、松浦 哲也^{1,2)}、本多 靖^{1,2)}、吉見 明香^{1,5)}、後藤 歩^{4,5)}、吉田 晴久⁶⁾、
安藤 豪⁶⁾、助川 明子⁷⁾、畑 千秋⁸⁾、齋藤 幸枝⁸⁾、宮下 陽子⁸⁾、屋代 涼子⁹⁾、中島 淳²⁾、
市川 靖史^{4,5)}

¹⁾横浜市立大学附属病院 緩和医療部、²⁾横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学、

³⁾横浜市立大学医学部 総合診療医学、⁴⁾横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科、

⁵⁾横浜市立大学医学部 がん総合医科学、⁶⁾横浜市立大学附属病院 精神科、

⁷⁾横浜市立大学附属病院 産婦人科、⁸⁾横浜市立大学附属病院 看護部、⁹⁾横浜市立大学附属病院 薬剤部

016-5 緩和医療を導入された不眠症状を有する患者のせん妄に対する Suvorexant の有用性の
検討 ー後方視的観察研究ー

結束 貴臣^{1,2)}、日下部 明彦³⁾、松浦 哲也^{1,2)}、本多 靖²⁾、吉見 明香^{1,6)}、後藤 歩^{4,5)}、吉田 晴久⁶⁾、
安藤 豪⁶⁾、助川 明子⁷⁾、畑 千秋⁸⁾、齋藤 幸枝⁸⁾、宮下 陽子⁸⁾、屋代 涼子⁹⁾、中島 淳²⁾、
市川 靖史^{4,5)}

¹⁾横浜市立大学附属病院 緩和医療部、²⁾横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学、

³⁾横浜市立大学医学部 総合診療医学、⁴⁾横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科、

⁵⁾横浜市立大学医学部 がん総合医科学、⁶⁾横浜市立大学附属病院 精神科、

⁷⁾横浜市立大学附属病院 産婦人科、⁸⁾横浜市立大学附属病院 看護部、⁹⁾横浜市立大学附属病院 薬剤部

**016-6 口腔癌に対する動注化学療法治療後のオピオイド中止が可能な患者因子の検討
—後方視的研究—**

結束 貴臣^{1,2)}、日下部 明彦³⁾、松浦 哲也^{1,2)}、本多 靖²⁾、吉見 明香^{1,6)}、後藤 歩^{4,5)}、吉田 晴久⁶⁾、
安藤 豪⁶⁾、助川 明子⁷⁾、畑 千秋⁸⁾、齋藤 幸枝⁸⁾、宮下 陽子⁸⁾、屋代 涼子⁹⁾、中島 淳²⁾、
市川 靖史^{4,5)}

¹⁾横浜市立大学附属病院 緩和医療部、²⁾横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学、

³⁾横浜市立大学医学部 総合診療医学、⁴⁾横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科、

⁵⁾横浜市立大学医学部 がん総合医科学、⁶⁾横浜市立大学附属病院 精神科、

⁷⁾横浜市立大学附属病院 産婦人科、⁸⁾横浜市立大学附属病院 看護部、⁹⁾横浜市立大学附属病院 薬剤部

**016-7 A 病院におけるがん患者指導管理料 2 算定の現状と課題
～治療中の辛さと患者の思いに焦点をあて～**

新海 尚子

市立甲府病院 外来通院治療室

一般演題 17

9月18日(月・祝) 13:30~14:30 第4会場(本館4F・花B)

「在宅栄養管理／摂食・嚥下・口腔ケア」

座長：五島 朋幸 (ふれあい歯科ごとう 代表)

017-1 在宅医療患者の栄養状態とその関連因子について

盛田 真樹

医療法人社団仁明会 齋藤病院

017-2 在宅がん患者に対し ICT を利用した栄養管理を試みた一症例

千葉 恵、新 謙一、新 智美、三藤 雄介、林 涼

草加内科呼吸ケアクリニック

017-3 食道癌術症例における在宅療養 1 年間での栄養指標と体重減少の関係性の検討

松岡 美緒¹⁾、飯島 正平²⁾

¹⁾地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 栄養管理室、

²⁾地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科 消化器外科 緩和ケアセンター

**017-4 口腔癌に対する動注化学療法治療後の早期胃瘻抜去が可能な患者因子の検討
—後方視的研究—**

本多 靖¹⁾、結束 貴臣^{1,2)}、日下部 明彦³⁾、松浦 哲也^{1,2)}、吉見 明香^{2,6)}、後藤 歩^{3,4)}、吉田 晴久⁶⁾、
安藤 豪⁶⁾、助川 明子⁷⁾、畑 千秋⁸⁾、齋藤 幸枝⁸⁾、宮下 陽子⁸⁾、屋代 涼子⁹⁾、中島 淳¹⁾、
市川 靖史^{4,5)}

¹⁾横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学、²⁾横浜市立大学附属病院 緩和医療部、

³⁾横浜市立大学医学部 総合診療医学、⁴⁾横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科、

⁵⁾横浜市立大学医学部 がん総合医科学、⁶⁾横浜市立大学附属病院 精神科、

⁷⁾横浜市立大学附属病院 産婦人科、⁸⁾横浜市立大学附属病院 看護部、⁹⁾横浜市立大学附属病院 薬剤部

017-5 在宅慢性呼吸器疾患患者のセルフマネジメントの有用性の検証

古徳 由佳、田中 弥生

駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科

017-6 在宅における嚥下評価の実際

小林 直美、古屋 由美、佐藤 奈保、金澤 博美、帰山 祥子、高群 麻美、佐藤 恵子、滝澤 里織、
佐藤 美穂、廣瀬 憲一

医療法人社団守成会 広瀬病院

一般演題 18

9月18日(月・祝) 14:40~15:50 第4会場(本館4F・花B)

「在宅栄養管理／皮下注射・皮下点滴／在宅酸素・呼吸管理」

座長：高砂 裕子（一般社団法人南区医師会
南区医師会訪問看護ステーション）

018-1 皮下埋め込み型中心静脈ポート感染症例の検討

酒井 俊彦、佐久間 典子、小谷野 友里、高村 智恵、河野 正和、戸島 洋一

東京労災病院 呼吸器内科

018-2 在宅での中心静脈カテーテル挿入 53 例の考察

杉本 由佳

すぎもと在宅医療クリニック

018-3 本邦における CV ポートに関するアンケート調査結果報告

井上 善文

大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門

018-4 在宅緩和ケアにおける PCA の有用性

吉澤 明孝、森田 祥子、池田 博齊、石黒 俊彦、松崎 圭祐、吉澤 孝之

要町病院・要町ホームケアクリニック

018-5 呼吸苦を伴う再発乳癌患者に在宅 PCA ポンプを用いた一例

吉田 秀行¹⁾、兼松 清果¹⁾、服部 美栄²⁾、権 雅憲¹⁾

¹⁾ 関西医科大学 外科、²⁾ 関西医科大学香里病院 地域連携部

018-6 当院における在宅持続皮下注射法の現状と非がん性疼痛・良性疾患への適応について

大城 辰雄¹⁾、大城 久子¹⁾、谷水 正人²⁾

¹⁾ 大城外科胃腸科、²⁾ 四国がんセンター 緩和ケア科

018-7 在宅人工呼吸療法患者のアクシデントによる急変を振り返る
～二度と繰り返さぬように～

武知 由佳子

医療法人社団愛友会 いきいきクリニック